

人を対象とする医学系研究実施について  
研究課題名「造血器腫瘍の未病診断を支援するバイオマーカーの開発」

熊本大学医学部附属病院 中央検査部では、2016年6月7日に学内倫理審査委員会の承認を受け、「造血器腫瘍の未病診断を支援するバイオマーカーの開発」という課題名の研究を行っています。これは、骨髄異形成症候群をはじめとする血液腫瘍性疾患の診断をより確実にするための基礎研究を行うもので、血液細胞の形態を精密に解析したり、血液腫瘍細胞に特異的に発現するタンパク質を探索したりするものです。

この研究では、治療・検査目的で患者さまから採取した検体で必要な検査が終わったのちに、本来医療廃棄物として廃棄する検体の一部を用いることとしています。この研究のためだけに検体を採取するということはありません。また、検体は「連結不可能匿名化」という処理を行い、研究を担当する者にも誰の検体かわからないようにしてから研究に用います。このような形式の研究の場合、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」において、必ずしも文書による同意取得を行わずとも研究に用いることが認められていますが、もし、本研究への検体の提供をお断りされる場合には、これに応じますのでお申し出ください。

研究代表者  
熊本大学医学部附属病院中央検査部  
部長 松井啓隆（電話：096-373-5283）